

平成21年第6回臨時会 壱岐市議会 会議録(第1日)

議事日程(第1号)

平成21年10月23日 午後2時00分開会、開議

日程第1	会議録署名議員の指名	7番 今西 菊乃 8番 市山 和幸
日程第2	会期の決定	1日限り
日程第3	議案第100号 壱岐市汚泥再処理センター建設工事請負契約の締結について	保健環境担当理事 説明、 質疑、 委員会付託省略、可決
日程第4	議案第101号 平成21年度壱岐市一般会計補正予算(第6号)	財政課長 説明、 質疑、 委員会付託省略、可決

本日の会議に付した事件

(議事日程第1号に同じ)

出席議員(20名)

1番 久保田恒憲君	2番 呼子 好君
3番 音嶋 正吾君	4番 町田 光浩君
5番 深見 義輝君	6番 町田 正一君
7番 今西 菊乃君	8番 市山 和幸君
9番 田原 輝男君	10番 豊坂 敏文君
11番 中村出征雄君	12番 鶴瀬 和博君
13番 中田 恭一君	14番 榊原 伸君
15番 久間 進君	16番 大久保洪昭君
17番 瀬戸口和幸君	18番 市山 繁君
19番 小金丸益明君	21番 牧永 護君

欠席議員(なし)

欠 員(なし)

事務局出席職員職氏名

事務局長 松本 陽治君 事務局次長 加藤 弘安君
事務局係長 瀬口 卓也君 事務局書記 村部 茂君

説明のため出席した者の職氏名

市長 白川 博一君 副市長 久田 賢一君
教育長 須藤 正人君
ぎぎ島振興推進本部理事 松尾 剛君
市民生活担当理事 山内 達君 保健環境担当理事 山口 壽美君
産業経済担当理事 牧山 清明君 建設担当理事 中原 康壽君
消防本部消防長 松本 力君 病院事業管理監 市山 勝彦君
財政課長 浦 哲郎君 政策企画課長 山川 修君
管財課長 中永 勝巳君
会計管理者兼会計課長 目良 強君
教育総務課長 小嶋 光博君 環境衛生課長 眞鍋 陽晃君
環境衛生課長補佐 斉藤 和秀君

午後 2 時00分開会

議長（牧永 護君） ただ今の出席議員は 20 名であり、定足数に達しております。ただいまから平成 21 年第 6 回ぎぎ市議会臨時会を開会いたします。

これから、議事日程表第 1 号により本日の会議を開きます。

日程第 1 . 会議録署名議員の指名

議長（牧永 護君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、ぎぎ市議会会議規則第 81 条の規定により、7 番、今西菊乃議員及び 8 番、市山和幸議員の指名いたします。

日程第 2 . 会期の決定

議長（牧永 護君） 次に、日程第 2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日 1 日としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 御異議なしと認めます。したがって、本臨時会の会期は本日 1 日と決定

しました。

ここで市長から発言の申し出がっておりますので、発言を許します。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

市長（白川 博一君） ごあいさつを申し上げます。

本日、ここに平成21年第6回壱岐市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、御健勝にて御出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、新型インフルエンザにつきましては、感染の拡大が広がり、県内及び市内においても新型インフルエンザ感染の疑いが確認され、各学校においても学校閉鎖等の措置を行ったところでございます。

今後、季節性インフルエンザと合わせ、流行期に入ることが予想され、さらに感染の拡大が懸念のされるところであります。

現在、インフルエンザワクチンの接種が長崎県でも開催され、本市においても11月から実施されるところでございますが、医療従事者につきましては、今月下旬から実施の予定でございます。

市といたしましても、県、壱岐保健所、医師会等関係機関と十分連携を取り、感染の拡大防止等の対策に全力で取り組んでまいります。市民皆様におかれましては、これまで同様、発熱等の症状が見られる場合は、直接医療機関には行かず、まず医療機関に電話をされ、指示を受けられますようお願いを申し上げます。

次に、病院改革でございますが、10月5日に第3回の壱岐市立病院改革委員会を開催し、10月9日に答申書の提出を受けたところでございます。答申書の主な内容といたしましては、壱岐市民病院の地方独立行政法人化とかたばる病院の介護老人保険施設への転換等でございます。

今後、この答申にあります壱岐市民病院の地方独立行政法人化が最適な方策なのかを含め、十分検討し、また、市民皆様の御理解と御協力をいただけるよう、その説明責任を果たすため、タウンミーティングを開催することといたしております。

日程といたしましては、11月9日に芦辺町の壱岐島開発総合センター、11月10日に勝本町かざはや、11月11日に石田農村環境改善センター、11月16日に郷ノ浦町の壱岐文化ホールで開催する予定でございまして、時間はいずれも午後7時から開催することといたしておりますので、市民皆様多数の御参加をお願いするものでございます。

いずれにいたしましても市民皆様、議員各位、医師会等と十分意見交換を行い、病院改革を進めてまいりますので、御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

次に、民主党を中心とした政権に変わり、政策の動向等、その骨格が徐々に見え始めてきたところでございます。

そのうち、平成21年度補正予算の執行停止事業が去る10月16日に閣議決定され、削減総額は2兆9,259億円となったとの報道がなされました。さきの議会定例会で御報告をいたしました地域情報通信基盤整備推進事業につきましては、その執行停止事業の中に本事業が含まれないかと大変憂慮しておりましたけれども、本市の実情を御理解いただき、予定どおり事業採択の内定をいただいたところでございます。大変うれしく思っているところでございます。

今回、関連予算を計上いたしておりますが、これにより、壱岐市全世帯、全事業所を対象に光ファイバー網を整備し、市民生活の利便性の向上、産業振興などの地域の活性化、テレビの難視聴地域の解消、また、防災情報の提供など、本市にとりまして、これまでにない画期的な事業となりますので、十分御審議を賜りますようお願い申し上げます。

また、今回の補正予算につきましては、長崎県の農林漁業体験民宿施設整備事業実施要領の施行に伴う、市内の体験民宿施設のトイレ、浴室等の改修に対する補助、また、それから、観光アドバイザー招聘事業が実現の運びとなりましたので、その契約に伴う予算の組み替えを計上いたしております。

その他といたしまして、契約案件といたしましては、壱岐市汚泥再処理センター建設工事請負契約の締結についての合計2件の案件を提案いたしております。何とぞ慎重な御審議をいただき、適正なる御決定を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

日程第3．議案第100号

議長（牧永 護君） 次に、日程第3、議案第100号壱岐市汚泥再処理センター建設工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

市長（白川 博一君） 本日の議案説明につきましては、担当理事及び担当課長にさせますので、よろしくお願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

議長（牧永 護君） 保健環境担当理事。

〔保健環境担当理事（山口 壽美君） 登壇〕

保健環境担当理事（山口 壽美君） 議案第100号壱岐市汚泥再処理センター建設工事請負契約の締結について、御説明申し上げます。

壱岐市汚泥再処理センター建設工事請負契約を下記のとおり締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。本日提出でございます。

記といたしまして、1、契約の目的、苓崎市汚泥再処理センター建設工事、2、契約の方法、総合評価方式による制限付一般競争入札、3、契約金額、19億3,095万円、4、契約の相手方、福岡市博多区綱場町2番2号、アタカ大機株式会社九州支店支店長原田知行。

提案理由、苓崎市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。

次ページをお開きください。

説明資料といたしまして、1、工事場所、苓崎市郷ノ浦町坪触2971番地ほか。

工事内容でございますが、施設の規模といたしましては、し尿浄化槽汚泥等が日量96キロリットル、下水汚泥1.2キロリットル処理する規模でございます。型式、高負荷脱窒素処理方式、プラス、高度処理（砂ろ過処理、プラス、活性炭吸着処理）でございます。資源化設備、堆肥化設備をするように予定をいたしております。年間350トン程度を見込んでおります。

工期といたしまして、契約発効の日から平成24年3月31日でございます。

入札状況でございますが、参加者がアタカ大機株式会社九州支店並びに三井造船環境エンジニアリング株式会社でございました。技術提案と価格点数での総合評価を行いまして、アタカ大機株式会社技術提案点数35.9、入札価格18億3,900万円、価格点数は40点でございますので、これ満点40点でございます。総合点数といたしまして、75.9点ということで、アタカ大機株式会社九州支店が落札をされたということでございます。

よろしく申し上げます。

〔保健環境担当理事（山口 壽美君） 降壇〕

議長（牧永 護君） これから質疑を行います。質疑ありませんか。榊原議員。

議員（14番 榊原 伸君） 先ほど全員協議会でちょっと説明をいただきましたけども、この技術提案の点数ですけども、もちろん審査委員会の人は専門の方と思いますけども、どういう方がその審査員に選ばれているのか、そして、説明の中でも1社でも入札するというようなお話でございましたが、メーカーによってはいろんな技術とか機械とかが違って来るんですが、その辺の審査はどのようにされているのか、説明をお願いしたいと思います。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 審査委員会のメンバーでございますが、市役所の部内で3名、部外が3名でございます。3名の方につきましては、大学の先生で、こういう環境問題に精通した人を選んでおります。

技術評価の点数のつけ方でございますが、項目がございまして、1項目ごとにずっと点数をつけていって、発注仕様書と同程度のがゼロ%ということで、この発注仕様書よりも優れているものにつきまして点数を上げていくということになっております。それを、先ほど言いましたよう

に、評価する項目が決まっております、それを1項目ごとに審査していった結果で、こういう点数になっております。

それから、技術の問題はいろいろございます。その中で、壱岐市といたしましては、入札の公告にときに、高負荷脱窒素処理方式の実績、もしくは膜分離高負荷脱窒素処理方式の実績がある方ということで公募をして、それで応募されてこられました。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 榊原議員。

議員（14番 榊原 伸君） 私が心配することじゃないと思いますけども、そういう大学から専門の委員さんをお願いしたときに、その委員会の報酬というのは大体どのくらいかかるのですか。

それと、さっき言いましたように、1社の場合は比べるものがないのに、さっきは1社でも入札は可能とかいうふうなお話でございましたが、1社で、技術的なもので判断をすれば、もう間違いないと思うのですが、私は入札の意味からすれば、複数数社入っての入札が、入札の意味があるのではなからうかと思っておりますが、それは1社でもされるわけですね、さっき説明がありましたので、その2点だけお願いいたします。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 1社での入札の件についてお答えをいたしたいと思っております。

近年の廃棄物処理施設につきましては、ぜひ落札したい業者のみ参加するといった傾向がございまして、また、先ほど言いましたように、この参加をすることにより実施設計をつくるのに1,000万円以上の費用を要するというので、入札参加者が少ないということをおっしゃっております。

それから、あと、壱岐市といたしましては、仕様書に基づきまして、きちっとした設計をしてもらうような形で求めており、そして、それを総合評価委員会で技術審査をするということで、1社でも入札して、それが応募されたことによって競走が働いているということがございます。そして、それに基づきまして、1社の技術につきまして、それを評価することで出されたものが正当かどうかということで評価しておりますので、1社でも認めるということでしております。委員の報酬でございますが、委員長につきましては、会議のときに5万円程度を出していると思っております。ちょっと申しわけございません、その委員手当のところをちょっと私は把握しておりませんでした。（「以上で終わります」と呼ぶ者あり）

議長（牧永 護君） ほかに。豊坂議員。

議員（10番 豊坂 敏文君） 技術の提案点数、これについて、技術評価の場合に設計、建築

工事に関する事項が35点、それから、用役費に関する事項が20点、点検保守に関する事項が5点ですが、この2社についての明細をお願いします。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） お答えします。設計建設工事に関する事項でございますが、アタカ大機が10.9、三井造船が7.7です。用役費に対しましては、アタカ大機が20点、三井造船が15.27、点検保守につきましては、アタカ大機が5点で、三井造船が4.13でございます。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 豊坂議員。

議員（10番 豊坂 敏文君） 2番、3番については、大体満点に近い数字が出ておりますが、1番、この設計と建設工事に関する事項について、35点のうちに3分の1という数字になっておりますが、こういう結果、評価ですが、評価委員さんがされた理由というのは、特別に明確化されておられませんか。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 設計建設工事に関する評価点でございますが、先ほど言いましたように、発注仕様書と同程度のものが、評価点がゼロでございます。発注仕様書よりも作成設計されてきたものが優れているものにつきまして、評価点が上がるという状況になっております。

今回の状況で、アタカ大機さんにつきましては、全体計画の審査をする項目が7項目ございました。その中で、少しよかったということでございます。

それから、環境対策につきまして、壱岐市が求めております環境基準よりもすべての点につきまして2分の1、半分以下での環境基準でうちはやりますということを示されておりますので、この点が評価になっております。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 10番、豊坂議員。

議員（10番 豊坂 敏文君） 市の仕様書、これは発注仕様書というのがここにあります、これがゼロ点というのが低いじゃないですか。仕様書自体がゼロ点というのは、それよりも35点までクリアするというのは大分の差があると思うわけですが、ゼロからスタートして、この35.9点しか出しておりませんが、これは全体で60ですから、20点の25点引いて35点ですか。あと10.9しかないわけですが、あまりにも低いような感じがしますが、その市の発注仕様書自体がゼロからスタートをすることが妥当と思われませんか。なんでゼロになるか、ちょっと説明してください。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 発注仕様書と同程度のものの作成をしてあればクリアするというでございます。それ以上の発注仕様書よりも優れた提案があることに対して、プラス点数を加算していくということになっております。それが、アタカさんの場合が10.9ということになっております。（「もういいです」と呼ぶ者あり）

議長（牧永 護君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 今の豊坂議員さんの御質問にお答えしたいと思いますが、市が出しております仕様書、そこに基準が来ておれば、本当は100点なんです。100点なんだと。しかし、それをあえてゼロとして、100点を上回った分が、この35点だという御理解をいただきたいと思っております。ですから、これ100点のところをゼロにしておるということでございます。

議長（牧永 護君） 豊坂議員。

議員（10番 豊坂 敏文君） その100点というのが、私の評価の仕方が悪かったかもしれませんが、その100点がゼロということ自体が、発注仕様書が低いという考え方をしております。ですから、市の仕様書は110点なり、例えば、この評価の35点中、中間、3分の1というのはあまり低いでしょうが、せめて3分の1ぐらいの評価点数だけは上げておかないと、この点数だけ見たときに、10.9点だけしか取ってないというのは低い、私が言いよることと市長が言いよることは、市長はゼロでよかち言いよるとが100でしょうが。私は110あるとが妥当だということを言いよるとです。

以上です。

議長（牧永 護君） ほかに質疑ありませんか。6番、町田議員。

議員（6番 町田 正一君） ちょっと、まず、国の環境基準とそれプラス、地域と協定が、当然、今ごろはもうほとんど地域環境基準については、地域と特別に国の環境基準の上回る点で、地域環境協定を大体定めるところがほとんどなんですが、まず、それがいいのかどうかということ。

それから、2番目に、僕は、この の用役費というのは、大体これが大体メンテナンス料だと思ったのですが、その3の点検保守に関する事項の5点と用役費に関する事項の20点と、これの差は、これ違いは何かということがまず2番目です。

それから、3番目に、最近審査項目の中にはほとんど地域貢献ポイントというのを大体つけるんが、入札にときに当たり前なんです。

例えば、工事中に、その地域の環境整備をどうするかとか、そういうのも積極的にやっている工事というのは今ほとんどなんですが、地域貢献ポイントというのは、この中になかったのかどうか、以上3点、ちょっと。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 環境基準でございますが、発注仕様書に基づきましては、汚泥の場合におきましては、敷地外の悪臭に対する補償値というものを求めております。これに基づきまして、国が示しております基準書、それから、地域での基準書に基づきまして、発注仕様書としての環境公害基準値を求めておりました。

ところが、アタカ大機株式会社につきましては、本市が求めている発注仕様書の環境基準よりも2分の1でやりますと、基準に基づきまして2分の1でやりますという申し出がっております。これに基づきましては、当然、契約書の中につづって、今後とも検証をしていくようになっております。

それから、用役益費と点検保守費に関する事項でございますが、用役費につきましては、汚泥を処理する費用ということになります。水道、燃料、薬品等、その会社の汚泥を処理する、提案する会社の機械で処理するために必要な用役費です。これに基づきまして、将来的な用役費がある程度安いほうがいいということで、20点をしております。

点検保守費につきましては、これに基づきましても、当然、ある程度の点検保守費に基づきまして、一定規模の一定の額よりも安く、かからない補修費ということで求めまして、評価点数としては5点ということしております。

貢献ポイントにつきましては、特別に地域に対する貢献ポイントというところではございませんが、施工計画、もろもろの安全対策、その辺に基づきまして、きちっと地元対策ができるかということでの点数はしております。

議長（牧永 護君） 町田議員。

議員（6番 町田 正一君） 僕も、別に、行政信頼してないわけじゃないなくて、ほんとは、こんな細かいことは、正直言って厚生委員会で聞いて言われれば、それはそのとおりなんですけども、実は、やっぱり、これ、だれが見てもそうなんですけども、これ、偶然の一致だと思いますが、片一方の会社が18億4,000万円、片一方が18億3,900万円、これは、議員の中にインターネット見られとる人は、某情報にはアタカのほうで落札するのはもう決定しているというふうな、そういう情報も、実はインターネット上じゃ流れとったんです。

それで、これたった100万円の違いなんで、僕は別に、それで不正があるとか、何とか言うとするわけじゃないんですけども、だから、こういうような評価で、ここでこうやって決めただということ、この場で説明きちんと仕切らんとどうもならんじゃないですが、理事。僕は聞いて、ひとつもわからん。本当にわからなかったです。本当、もう。多分、皆さんわかっておられんと思いますけどもね。

国の環境基準はもちろんあるとですよ、そりゃ、当たり前で、それで、それプラス、今は地域

との、それに国の環境基準よりもはるかに厳しい各自治体との環境協定を、それぞれの会社が結んどるとです。だから、その資料も、これ全然ないでしょう。これ、当然それ添付すべきじゃないですか。国の基準はこうで、いや、でも壱岐市はもっとさらにそれより厳しい10分の1ぐらいの、今はもう10分の1ぐらいの厳しい基準、国の基準にもないようなやつまで、今は含めて、どんどん自治体は、5年先、10年先を見込んでやっておるとです。

だから、その表もない、国の基準値の表もないし、地域との環境協定の環境基準環境負荷のそれぞれのメーカーに与えた分もない、ただ単にメーカーが地域の壱岐市が要求するのよりも2分の1以下でやりますって言うたから、それが評価の対象になりましたと言われても、説明のしようがないじゃないですが、僕らが。

もう、これも、もう、僕はほんと言うたら、こんなを、これはもう事前に持ってこいと、当然。それで、これだけの表をつくるんだったら、環境負荷に対する表も、当然、それをつけるべきだと。

それから、2番目に、その地域貢献ポイントというのは、部長が言われるようなこっちゃないとですよ。その会社が、例えば工事期間中に、その地域に対してどういう、例えば環境、木を植えるとか、その地域で火災があったら、その地域の災害が起こったら、今は全社員が、その地域に行ったりとか、公民館行事や地域の行事に参加したりとか、そういうところまで、今は地域貢献ポイントとして全部出しておるとです。入札の中に。

やから、そねんとを僕は言いよるとです。やはり、地域との安全協定とか何かとかいうのは、そんなのもう当たり前の話であって、その辺とは地域貢献ポイントとは何も関係ないとよ。

それから、もう用役費の分についても、よく説明がよくわからんとです。要するに、用役費というのは、その処理をする薬品とか、その電気とか、水道とか、そういうのが用役費に当たるわけですか。もう1回、ちょっと、その用役費について説明してくれませんか。これ、点検保守費とどう違うとか。聞いとっててもよくわからない。

議長（牧永 護君） 答弁をお願いします。（「はい」と呼ぶ者あり）

議員（6番 町田 正一君） 理事、表があるんだったら、それをコピーして持ってきてくれませんか、これ。国の環境基準と壱岐市とを結んだ、当然、壱岐市とも環境基準結んで、環境協定結んどると思うんですね。（「暫時休憩」と呼ぶ者あり）

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） ちょっと休憩をお願いします。

議長（牧永 護君） 暫時休憩をいたします。

午後2時34分休憩

.....

午後2時54分再開

議長（牧永 護君） 休憩前に続き、会議を開きます。

山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 答弁補佐といたしまして、保健環境眞鍋課長と斉藤補佐の本会議の出席をお願いさせていただきたいと思っております。

議長（牧永 護君） ただいまの申し出について、御意見を伺いたいと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 課長と補佐の入室を認めます。

〔環境衛生課長（眞鍋 陽晃君）・環境衛生課長補佐（斉藤 和秀君） 入場・着席〕

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 町田議員の御質問お答えします。

環境基準の問題でございますが、お手元に資料を配付いたしておりますが、国の基準におきましては、放流水に関する補償値のみしか、きょうちょっと提出ができかねます。

それから、敷地外の悪臭に対する補償値につきましては、市が求めている発注仕様書と、今度、落札されたアタカ大機が示された補償値の比較をしております。放流水の補償値につきましても比較をしております。

放流水の中で、国の基準と比較できるものにつきましては、BODとCOD、SSのこの3点につきましては、比較ができるようになっております。ちょっと表を見ていただきたいと思いますと思っておりますが、BODにつきましては、国が20ミリグラムで、市の発注基準が10ミリグラム、会社につきましては5ミリグラム以下でやるということになっております。CODにつきましては CODは済みません、ちょっと単位の取り方が違います。SSのほうです。SSにつきましては、国の基準が70ミリグラムで、市が求めているのが10ミリグラム、会社が提案されているのが5ミリグラムということでございます。

詳細につきましては、また後ほど提出させていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

それから、用役費の問題でございますが、用役費につきましては、毎日運転するときにかかる、し尿から水までにかかる経費でございます。毎日かかる費用を用役費と見ております。水道費用、燃料費用、薬品 薬品の中には、活性炭、消臭剤、水酸化ナトリウム等でございます。これにつきましては、高負荷脱窒素装置のほうが、この用役費が安いということで、提案を今回求めておりました。膜分離等につきましては、この用役費が高いということで、高負荷脱窒素方式を採用しております。

それから、維持管理費等の点数が低いというところにつきましては、維持管理費につきまして

は、毎日のことではなく、補修費が発生するときの費用でございますので、点数的に20点と5点という差がついておるといふことでございます。

地域貢献につきましては、先ほど申しましたように、先ほど議員が提案されましたことについては、今回の評価基準に入れておりませんでした。今後、いろいろ地域に対しては、今後地域貢献するように指導はしていきたいと思っております。

議長（牧永 護君） 町田議員。

議員（6番 町田 正一君） 別に、僕は理事をいじめようとも思っておりませんし、発注仕様書は市が出した分なんですけど、もちろん、これは国の環境基準をオーバーするなんかいうようなことは絶対あり得ないので、吉岐市の発注仕様書が、国の環境基準に照らして、大体どんくらいの割合になっているのかを僕は知りたかっただけで、それは、後ほど提出していただいたので構いません。

それから、用役費に関する説明は大体それでわかりました。

それから、地域貢献の分については、総合評価方式というのは、まさに、実は、そういったことも加味できるというのが、総合評価方式のメリットでもあるんです。要するに、価格だけでもない、技術だけでもない、もちろん、その2つだけでもないとか、その地域にずっと貢献しとるとか、そういった、あるいは、例えば地元の業者を使うとか、そういったものが僕は総合評価方式だろうと、こちらから条件つけれるんだということが、総合評価方式のポイントだと思ってるんです。

それで、その分の各項目について、今、そのポイント技術点とか、価格面での点数とかをずっと今4、6とかの形でずっと配分していますけども、それは、多分コンサルなり、県の指導なりに基づいて多分されているんでしょうけども。できたら、もうぜひ、そういった地域貢献ポイントとか、そういったことも加味していただきと思います。

それから、市長、これは僕の注文です。僕は、今回も、別にこれ不正があったとは思いません。18億4,000万円、18億3,900万円。ただし、普通の人が、一般の感覚で見たら、この金額には何か、例えば談合とか、そういったことがあったんじゃないかと、普通に思われるじゃないですか。議員の素人の僕でも、そうじゃないんだたらきちんと説明できるようにしとくと、僕はもう正直いって言いたいんです。胸を張って、堂々と説明できれば、そういう、あらぬうわさがあっても、だれでも否定できるとです。

ところが、これは理事には申しわけないですけど、もっとやっぱり胸を張って堂々と説明できる資料としゃべり方というか、人を納得させるしゃべり方をしてもらわないと、ああだのこうだの言うて、結局、だれが聞いてもだれもわからないというような、今後いかんですよ、ほんと。特に今回は焼却場も、これ入札不落になりまして、また1年延びます。メンテナンス料もかかり

ます。市民に対しても、やっぱりずっと地元に対してもずっと説明に回っていかないかん立場にあられると思います。

市長、いきなりといったら無理かもしれませんが、ぜひ、幹部職員、少なくとも議会に出てこられる人たちは、自信を持って、僕みたいな素人が説明を求めてわからんとか、説明ができんようじゃ、納得できんようじゃ、そりゃ、もう普通の人とはとてもじゃないけど納得できんです。だから、今後は、ぜひ幹部職員一同、襟を正していただいて、議会答弁は自信を持って、きちんと裏づけのある資料をもとに、数字を示して答弁してもらいたいと思います。

これは私からの個人的な要望なので、以上で終わります。

議長（牧永 護君） ほかに質疑はありませんか。2番、呼子議員。

議員（2番 呼子 好君） 今の町田議員から言われましたが、入札の状況を見ると、約予定価格から5億1,000万円程度下がっておりますが、結果としては100万円ぐらいしか差がないという状況が出ております。この18億3,900万円について、壱岐島内でどのくらいのお金が落ちるか、そういうのをもし計算してあれば、業者でも結構です。

それと、もう一つは、堆肥の関係でございます。年間350トン出るということでございますが、これの後の利用なり、処理についてどのように考えてあるのか、お聞かせ願いたいと思います。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 請負額の中で、壱岐市の中で落ちる額というのは、ちょっと計算しておりません。

堆肥の350トンの利用でございますが、現在の装置といたしましては、ばらのフレコンで保存する方法と袋詰めをする方法を機械は処理をするようにしております。価格とか、そういうところにつきましては、今後、肥料の成分等もございまして、検討していく予定でございます。

以上であります。

議長（牧永 護君） 2番、呼子議員。

議員（2番 呼子 好君） この堆肥については、かなり成分的に問題があるんじゃないかなと。ほかの、今の堆肥センターあたりと一緒にやるとか、そういうことをしないと、これだけの処理ではいろいろと問題が出るんじゃないかというふうに懸念をしています。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 堆肥の処理でございますが、視察に行ったらし尿処理場等につきましては、単独で処理はしておられました。それで、成分等につきましては、壱岐の場合は堆肥がいろいろとございます。そういう状況の中で、成分を比較して、単独で使ったほうがいいのか、混合をして使ったほうがいいのかというのは、今後検討していきたいと思っております。

議長（牧永 護君） ほかに質疑はありませんか。3番、音嶋議員。

議員（3番 音嶋 正吾君） 私は、技術とか評価点、そうしたとらえかたじゃなくて、他の視点で質問をいたします。

実は、こうしたメジロ押しの事業が壱岐市で逐次行われております。そうした中、今、呼子議員からも御指摘がありましたし、町田議員からも若干ございましたので、私もあえてここで申し上げたいのは、やはり壱岐市に金が滞留するシステムを、やはりここに壱岐市議会として議決をするわけですので、ある程度の執行側として、可決をされた場合、壱岐市の業者さん、そうした皆さんでできることは、壱岐市の業者さんに付託をしてくださいということは執行側で言えないものか、そのように考えるわけです。

やはり、金はすべて向こうに出てしまうのでは、せっかくの事業が壱岐市のためにならないという状況が発生するやに考えますので、そこら辺の、市長、これはもう市長の見解を賜りたいと思います。

議長（牧永 護君） 白川市長。

市長（白川 博一君） おっしゃるとおりでありまして、壱岐市の業者でできるものは壱岐市の業者を極力使う、そしてまた、今回のように壱岐市の業者で対応できないものについては、落札した業者に、できるだけ壱岐市の業者を使ってくれということを行っているところでございます。また、それを、ある意味、音嶋議員がおっしゃるように、もう少し強い要求ができないものか、それは研究してみたいと思っています。（「わかりました」と呼ぶ者あり）

議長（牧永 護君） ほかにありませんか。12番、鵜瀬議員。

議員（12番 鵜瀬 和博君） 今回の総合評価一般競争入札についてお尋ねをいたします。

先ほど来、豊坂議員のほうからもありましたが、技術提案点数につきましては、壱岐市の発注書が基準の零点になっておりまして、それからのプラスアルファということで、技術的には、壱岐市の発注書より上になるということでした。

仮に、これが発注書どおりになりますと、ともに零点ということになりますけども、そして、これと入札価格の点数のあり方については、これは、あくまでも失格にならない、一番最低入札価格が40点満点になるのか、それからの差額で次点以降の分については点数が決まってくるのか、お尋ねをいたします。

総合点数が、仮に技術提案点数が発注書どおりになりますと、50点以下になる可能性もあるかと思いますが、そうした場合には、あくまでも、この総合評価一般競争入札というのは、複合入札業者の当落を決める方法であって、その内容については一切関知しないのか、その点についてお尋ねをいたします。点数について。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 総合評価の技術点の問題でございますが、価格につきましては、最低落札者が40点ということになります。用役費につきましては20点満点でございます。正規で、安い価格と取った業者、落札した業者との比較によって、点数がつけられるようになります。

今回の場合は、アタカ大機（株）のほうが、用役費につきましても点検保守につきましても安かったということで、25点プラスになります。そういうことで、65点につきましては、この2つでなります。

あと設計建設工事につきまして、10点、9点の分がなるということでございます。

議長（牧永 護君） 鵜瀬議員。

議員（12番 鵜瀬 和博君） 今、担当理事の話では、まず価格ありきで、価格点数については40点を決めると。そして、2番の用役費及び点検保守費については最低落札価格が満点を取って、そこからの差額が10点のところ複数あった場合は、それに合わせて差額が点数引かれていく。1番については、設計発注書内容がゼロとなった場合は、それどおりであればゼロということですから、最低65点は必ずあるということに理解していいですか。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 最高が65点という形にはなりません。今回の場合は、たまたまアタカ大機さんのほうが価格も安かったし、用役費、点検保守費も安かったということで65点になっておりますが、用役費、点検保守費が三井造船さんのほか安かった場合につきましては、点数がアタカ大機、そちらのほうが20点と5点となりますから、その差額についてアタカ大機さんのほうが今度は下がってきますので、この100万円の入札価格の差では逆転することもあります。

議長（牧永 護君） 鵜瀬議員。

議員（12番 鵜瀬 和博君） まず、入札価格の価格点数については一番安いところが40点になる。これは正解ですね。（「はい」と呼ぶ者あり）技術評価については、1、2、3あって、2、3については、安いほうが、その総合の価格じゃなくて、評価価格の項目が安いほうが20点、で、3番についても5点。今回はたまたまアタカが両方、2番、3番については安かったから、20点と5点を。その差額で三井造船が15.27と4.13になるということですね。これが総合の入札価格が現状の場合であったらこうですけど、仮に三井造船のほうが、総合価格は、入札価格はこうであっても、2番、3番で三井のほうが安かったら三井のほうが20点と5点になるということにいいんですかね。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） はい、そうでございます。

議長（牧永 護君） 鵜瀬議員。（発言する者あり）

議員（12番 鵜瀬 和博君） いいとですか。今、私が理解したことでいいとですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ありますか。（「はい」と呼ぶ者あり）ということは、総合点数が50点以下になるということはないとは言えないですけど、かなりの差額が、それぞれの技術評価の中で差額がない限りは50点以下になるということは、ほぼ考えにくいということで理解していいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）わかりました。

議長（牧永 護君） ほかに。7番、今西議員。

議員（7番 今西 菊乃君） 堆肥のことについて、ちょっとお伺いいたします。

年間350トンということを、先ほど呼子議員の質問でもありますが、堆肥年間350トンができるということですが、今、石田、芦辺、勝本、それぞれに堆肥はつくられているわけなんですけど、市内で、十分、これは使い切れる量なのでしょうか。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 堆肥につきましては、今後のまたいろいろな問題ございますが、液肥につきましては、今現在3施設で液肥をつくっておるわけですが、今後、この液肥の量が減るということでございます。芦辺はもう完全にやめるということになっております。勝本と石田について、現在、どういう処理をするかというのが検討中ですが、絶対量からすれば減るということで、あと、価格の問題等もございまして、需要はあるんじゃないかとは思っております。

議長（牧永 護君） 今西議員。

議員（7番 今西 菊乃君） 大体、多分島内で使い切れる量ではないかという計算をなされているんだろうと思いますが、販売は、今のように市を通しての販売になるわけですね。例えば、JAさんに委託するとか、そういうことはないわけですね。

議長（牧永 護君） 山口保健環境担当理事。

保健環境担当理事（山口 壽美君） 現在のところ、どういう販売方法をするかということについては、まだ決定をいたしておりません。

以上です。（「終わります」と呼ぶ者あり）

議長（牧永 護君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、質疑終わります。

議案第100号については、吉岐市議会会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第100号壱岐市汚泥再処理センター建設工事請負契約の締結については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから討論行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これから、議案第100号壱岐市汚泥再処理センター建設工事請負契約の締結についてを採決します。

この採決は起立によって行います。本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

議長（牧永 護君） 起立多数です。したがって、議案第100号壱岐市汚泥再処理センター建設工事請負契約の締結については、原案のとおり可決されました。

説明員の退場を認めます。

〔環境衛生課長（眞鍋 陽晃君）・環境衛生課長補佐（斉藤 和秀君） 退席〕

議長（牧永 護君） 市民生活担当理事から、どうしても次の用件があるということで退席したい旨申し出っておりますので、認めてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 退席を認めます。

〔市民生活担当理事（山内 達君） 退席〕

日程第4．議案第101号

議長（牧永 護君） 次に、日程第4、議案第101号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第6号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。浦財政課長。

〔財政課長（浦 哲郎君） 登壇〕

財政課長（浦 哲郎君） 議案第101号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第6号）について、御説明申し上げます。

平成21年度壱岐市の一般会計補正予算（第6号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ46億5,099万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ309億5,850万5,000円とします。

第2項歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算

の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」により定めております。

地方債の補正、第2条地方債の変更は「第2表地方債の補正」によります。本日の提出でございます。

2ページ、3ページをお開き願います。

第1表歳入歳出予算補正、歳入及び歳出の補正の款項の区分の補正額等については、第1表歳入歳出補正の記載のとおりでございます。

歳入歳出予算補正の内容については、事項別明細書で後ほど御説明させていただきます。

4ページの第2表地方債補正をお開き願います。

1変更、合併特例事業債の変更分は、地域情報通信基盤整備推進事業に係る分で、合併特例事業債の限度額30億5,960万円を、限度額を34億6,700万円に補正をいたしております。4億740万円を追加でございます。

それでは、歳入歳出予算補正について、事項別明細書により補正内容について御説明いたします。

10ページ、11ページをお開き願います。

まず、歳出より説明させていただきます。

2款総務費、1項総務管理費、7目情報管理費の補正額46億2,800万円は、地域情報通信基盤整備推進事業費であります。

本事業は、平成21年度国の補正予算での経済危機対策に係る地域通信事業基盤整備推進事業を受けて、壱岐市内全世帯、全事業所を対象に、光ファイバー網を整備し、地上デジタル放送、難視聴解消対策、超高速インターネット接続サービス、告知放送設備を整備し、防災情報や行政情報伝送を一元的に管理、整備する事業であります。

補正予算の内訳として、国庫補助事業費44億1,900万円、補助対象外事業費2億900万円で、補助対象外事業費の内訳として、工事費等が1億3,430万円、電柱等調査手数料使用料のほか諸費用として7,470万円であります。

内訳として、旅費、需用費、役務費の郵便料の事務費が250万円、役務費で電柱等の調査手数料が3,400万円、委託料で設計及び工事管理委託料が7,230万円、使用料及び賃借料で4,320万円、工事請負費として44億円、電柱等の移設工事負担金として7,500万円、補償費として100万円であります。

補正額の財源として、国庫補助金で地域情報通信基盤整備推進交付金並びに地域活性化公共投資臨時交付金で41億2,440万円、地方債で合併特例事業債を4億740万円、その他財源として、地域振興基金繰入金2,000万円、一般財源として7,620万円を、特別地方交付税を財源として補正をいたしております。

次に、6款商工費、1項商工費、1目商工総務費の嘱託職員報酬及び社会保険料の減額は、当初予算で、観光アドバイザーの予算を議決いただいております。このたび、観光アドバイザーの実現の運びとなりましたので、報酬及び社会保険料を減額させていただき、4目観光費で観光アドバイザー招聘負担金として、企業からの派遣とのことで、負担金としての予算の組み替えをいたしております。

内訳として、家賃含めて月額55万円の5カ月分、275万円を負担金として補正をいたしております。

農林漁業体験民宿施設整備事業補助金は、長崎県農林漁業体験民宿推進方針に基づき、旅館業法等の規制緩和を受けた農林漁業体験民泊及び農林漁業体験民宿業の国登録を受けた簡易宿所の衛生施設整備事業で、トイレ、浴室、洗面所、調理場等の改修費用に対する補助金であります。合併浄化槽設備に係る費用は、補助対象外であります。

事業主体は、長崎県農林漁業体験民宿推進方針に基づき設立された、グリーン・ツーリズム等推進組織で、農林漁業体験民宿1軒当たり補助対象事業費は250万円を上限として、県補助率は3分の1以内で、市も同様の3分の1以内の補助をいたします。1軒当たり250万円の3分の2以内で166万円の16軒分、2,656万円で、財源として県補助金が1,328万円を補正いたしております。

なお、長崎県実施要綱が本年9月2日に制定され、本年の事業のみで制定をされております。

戻りまして、次に、歳入について御説明をさせていただきます。

8ページ、9ページをお開き願います。

10款地方交付税、1項地方交付税、特別交付税8,591万6,000円は、財源不足分を特別交付税で補正をいたしております。特別交付税の補正前の予算額は5億円を予算化いたしております。

14款国庫支出金、2項国庫補助金、7目総務費国庫補助金、地域情報通信基盤整備推進交付金は、補助対象事業費44億1,900万円の3分の1の14億7,300万円、地域活性化公共投資臨時交付金は、経済危機対策における公共事業等の追加に伴う地方負担軽減を図られる交付金で、地域情報通信基盤推進事業国庫補助金対象事業の交付金残額の3分の2に係る分で、29億4,600万円の9割で、26億5,140万円を補正いたしております。

15款県支出金、2項県補助金、7目商工費県補助金、農林漁業体験民宿施設整備事業補助金1,328万円、農林漁業体験民宿1軒当たり補助対象事業費は250万円を上限として、補助率3分の1以内で、1軒当たり83万円の16軒分、1,328万円を補正をいたしております。

18款繰入金、2項基金繰入金、地域振興基金繰入金2,000万円は、地域情報通信基盤推進事業に係る分で、起債充当残額に補正をいたしております。

21款市債、1項市債、6目合併特例事業債は、4億740万円は、地域情報通信基盤整備推進事業で、合併特例事業債の対象とならない電柱等調査手数料、使用料を除いた事業費から国庫補助金の財源充当残額に95%の合併特例事業債を充当し、補正をいたしております。

給与費明細書は、12ページでございます。

1、特別職その他区分の観光アドバイザー、嘱託職員の報酬並びに共済費を減額いたしております。

次に、13ページに地方債の見込み等に関する調書を記載いたしております。

なお、資料で、補正予算概要で主要事業の状況及び基金の状況について記載をいたしております。

以上で、平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第6号）の説明を終わります。御審議のほどよろしく願いをいたします。

〔財政課長（浦 哲郎君） 降壇〕

議長（牧永 護君） これから質疑を行います。質疑ありませんか。13番、中田議員。

議員（13番 中田 恭一君） 地域情報通信基盤整備のほうでお尋ねです。

土地の借上料入っていましたが、これ多分、電柱を市が新規に立てんといかんとかなと思っておりますけども、前回のときもそうやったみたいですけども、基本的にNTTの電柱を借用するんでしょうけども、その分で強度が足りないとかという件で、新規に電柱を立てて、その電柱敷地料をずっと払っていくということになると思っておりますが、ざっと予定では、年間、その電柱敷地料だけで、ずっと、これ、今から続いていく負担になると思っておりますが、大体どのくらいになるか。あわせて、現在とは別に、これだけでNTTの電柱の借用料がどのくらいになるか、細かい数字まで要りません、ざっとでわかればいいです。

議長（牧永 護君） 山川政策企画課長。

政策企画課長（山川 修君） まず、自立柱の土地の借上げのことでございますけども、議員おっしゃるとおり、強度不足等により、壱岐市が自立柱、壱岐市の電柱を立てなければならないようになった場合に、その私有地の借上料のことでございます。

大体、今回の事業では、電柱の面積だけなものですから、大体1カ所当たり1,500円程度を考えております。カ所数につきまして、1,000本分を予定しております。今まで、以前に、19年度地域イントラネットで自立柱を立ててきたわけでございますけれども、ここまで行っておりませんで、100万円内でおさまっております。

それから、九電柱とNTT柱の共架費でございますけれども、九電柱が1本当たり1,665円、NTT柱が1,260円、年額かかります。これは、ずっと発生してくるようになります。（「総額で」と呼ぶ者あり）総額です。（「年間の」と呼ぶ者あり）今回の予算上の見積もりで

ございますけれども、九電柱が1万8,000本。ほぼ壱岐等に立っている電柱をほぼ使用するというふうに想定をしております。それでも足りない分は、壱岐市の自立柱を立てるということでございますので、九電柱が1万8,000本、2,457万円、NTT柱が1万3,600本、1,713万6,000円ほどを予算計上しております。（「了解です」と呼ぶ者あり）

議長（牧永 護君） ほかに質疑ありませんか。3番、音嶋議員。

議員（3番 音嶋 正吾君） 現在の情報通信基盤整備事業、これ46億円ほどになりますが、これは、年度内にやってしまうわけですか、債務負担行為の議決を上げておられませんので、その件が1点。

そして、6款1項19節の観光アドバイザー招聘負担金、これは予算の組み替えと言われましたね。前回1,350万円で、それとは違いますか。（発言する者あり）わかりました。そして、1点目に関してだけお願いいたします。

議長（牧永 護君） 政策企画課長。

政策企画課長（山川 修君） お答えをいたします。

議員おっしゃるとおり、今からあと5カ月でございますので、42億円の事業をするのは無理でございます。これは、総務省も認めている繰り越しを前提とした事業でございます。（「なんて、もう1回」と呼ぶ者あり）繰り越しを前提としております。

議長（牧永 護君） ほかに質疑ありませんか。12番、鵜瀬議員。

議員（12番 鵜瀬 和博君） 2点、お伺いします。

今回の光ファイバーについて繰り越しということですが、いつぐらい開通予定なのかという点と、もう一つ、観光アドバイザーですが、この人のどこから招聘をされて、どこのポジションにいて、役職あたりはどのようになるのかお尋ねをいたします。まあ、取り扱いですね。

議長（牧永 護君） 山川政策企画課長。

政策企画課長（山川 修君） 今から議決をいただきまして、まず、全く実施設計をしております。さきに補正予算でいただきました6,000万円についても、内示が来ないものですから、まだ着工してない状態でございます。今から、即、前の6,000万円について、起工着工いたしたいと思っております。

今年度内に、本体の実施設計を組み上げまして、できれば、年度末までには契約をしたいと、それから、1年かけて工事を終わらせたいというふうに考えております。早ければ23年の2月に完成をいたしたいと、3月中につきましては、その試運転を兼ねまして、稼働させていきたいというふうに考えております。

議長（牧永 護君） 松尾壱岐島振興推進本部理事。

壱岐島振興推進本部理事（松尾 剛君） 今回お招きするアドバイザーについてでございます

が、今回お招きをしたいと考えている方は、JTB系の総合広告会社、株式会社KJ企画というところの社員の方でございます。

もうJTB入社以来、勤務年数は、現在のKJ企画も含め、勤務年数は30年を超えまして、店頭個人旅行から教育旅行、その他団体旅行の営業活動のほか、佐賀県の宇宙科学館に出向の御経験もあり、現在は企画業務の課長をされており、オールマイティーといいますが、そういう観光業務に精通された方でございます。

この方は、市役所の観光商工課の課長補佐としてお招きするというところで考えております。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 12番、鵜瀬議員。

議員（12番 鵜瀬 和博君） 今回、アドバイザー招聘が5カ月間ということですけども、4月以降についてはどのような考えか、市長にお尋ねをいたします。

議長（牧永 護君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 基本的に、23年度末までということで契約をしたいと思っておりますが、契約そのものは1年更新ということにいたしております。

議長（牧永 護君） 鵜瀬議員。

議員（12番 鵜瀬 和博君） たしか、市の条例の中に、期間を切って職員を採用する場合には、条例で任期つき職員の条例があったかと思うんですが、この人の立場は、あくまでもKJ企画からの出向扱いであって、職員ではないというふうに理解してよろしいですか。

議長（牧永 護君） 白川市長。

市長（白川 博一君） おっしゃるとおりでございます。そこで、今回は負担金として予算の組み替えをさせていただいたというところでございます。

議長（牧永 護君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑はありませんので、質疑を終わります。

お諮りします。議案第101号については、壱岐市議会会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第101号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第6号）は、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これから、議案第101号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第6号）を採決します。

この採決は起立によって行います。本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

議長（牧永 護君） 起立多数です。したがって、議案第101号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第6号）は、原案のとおり可決されました。

以上で、予定された議事は終了いたしました。この際、お諮りします。今期臨時会において議決された案件について、その条項、字句、数字、その他、整理を要するものにつきましては、壱岐市議会会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 御異議なしと認めます。よって、そのように取り計らうことに決定いたしました。

・ ・

議長（牧永 護君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、平成21年度第6回壱岐市議会臨時議会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後3時40分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、署名する。

平成 年 月 日

議 長 牧 永 護

署名議員 今西 菊乃

署名議員 市山 和幸